

平成26年3月期 決算説明会 データブック

平成26年5月29日
シダックス株式会社
(JASDAQ スタンドアード : 4837)

平成26年3月期 決算トピックス

I. 連結経営成績 [短信 サマリー及び【添付資料】2～3ページ記載]

わが国経済は、政府の経済政策・日銀による金融緩和政策により景気回復傾向にある一方で、円安基調による、値上げの影響や、米国・新興国経済の先行き等、依然として不透明な状況で推移しており、個人消費においても、雇用・所得環境の大幅な改善はみられず、経営環境は依然として厳しい状況が続いております。このような環境のもと当社グループは、“フードサービスから公共サービスまで提供可能な水平垂直統合型の企業構造”で他社との差別化を図り、高品質・高付加価値のサービスを提供するとともに、より一層の「安心・安全」な管理体制の強化、グループ総合力を活かした営業拡大に努めてまいりました。

また、「シダックス・カルチャービレッジ」をスタートさせ、当該施設を新しい価値の創造と情報発信の拠点として位置づけ、カルチャースクールとスポーツクラブを融合させたスポーツ&カルチャー事業における新しいサービス「CULTURE WORKS」としてスタートさせました。

■ 平成26年3月期 連結業績ハイライト

(単位:百万円)

	平成25年3月期				平成26年3月期						平成26年3月期	
	第2四半期累計(実績)		通 期(実績)		第2四半期累計(実績)		通 期(実績)		前 期 比		通 期(計画)	
		構成比		構成比		構成比		構成比	増減額	増減率	期初予想	差額
売上高	92,142	100.0%	186,185	100.0%	94,273	100.0%	191,583	100.0%	5,398	2.9%	192,000	△ 416
売上原価	80,032	86.9%	160,651	86.3%	83,150	88.2%	167,988	87.7%	7,336	4.6%	—	—
売上総利益	12,109	13.1%	25,533	13.7%	11,122	11.8%	23,594	12.3%	△ 1,938	△ 7.6%	—	—
販売費及び一般管理費	10,099	11.0%	20,397	11.0%	10,117	10.7%	20,651	10.8%	253	1.2%	—	—
営業利益	2,009	2.2%	5,135	2.8%	1,005	1.1%	2,943	1.5%	△ 2,191	△ 42.7%	6,000	△ 3,056
営業外収益	431	0.5%	1,367	0.7%	322	0.3%	1,148	0.6%	△ 218	△ 16.0%	—	—
営業外費用	561	0.6%	1,249	0.7%	619	0.7%	1,247	0.7%	△ 1	△ 0.2%	—	—
経常利益	1,879	2.0%	5,253	2.8%	707	0.8%	2,844	1.5%	△ 2,408	△ 45.8%	5,300	△ 2,455
特別利益	14	0.0%	135	0.1%	195	0.2%	404	0.2%	269	198.7%	—	—
特別損失	5	0.0%	553	0.3%	4	0.0%	1,218	0.6%	665	120.4%	—	—
当期純利益	732	0.8%	2,658	1.4%	40	0.0%	521	0.3%	△ 2,136	△ 80.4%	2,000	△ 1,478
総資産	90,186	—	94,284	—	103,220	—	100,101	—	5,817	—	—	—
純資産	20,135	—	25,335	—	24,651	—	25,206	—	△ 128	—	—	—
自己資本	20,039	—	25,218	—	24,515	—	24,962	—	△ 256	—	—	—
自己資本比率	22.2%	—	26.7%	—	23.8%	—	24.9%	—	△ 1.8%	—	—	—
ROE(自己資本当期利益率)	3.7%	—	11.7%	—	0.2%	—	2.1%	—	△ 9.6%	—	—	—
ROA(総資産経常利益率)	2.1%	—	5.7%	—	0.7%	—	2.9%	—	△ 2.8%	—	—	—

(注)【ROE】=四半期(当期)純利益/自己資本合計(当年度(第2四半期)末・前年度末の平均値)×100(%)、【ROA】=経常利益/総資産合計(当年度(第2四半期)末・前年度末の平均値)×100(%)

【売上高】1,915.8億円(前期比+2.9%)

□ スペシャルティレストラン事業・・・米国経済の回復基調の継続により、ロックフェラーセンター、カリフォルニア・フロリダのアミューズメントパーク等、観光施設内の店舗を中心に堅調に推移し、また、為替の影響もあり、前期比を29.1%上回る。

□ レストランカラオケ事業・・・個人消費において、雇用・所得環境の大幅な改善はみられず、消費マインドは足踏み状態にあり、支出の多様化、競合他社はもとより業種を超えた競争が激化し、事業を取り巻く環境は依然として厳しい状況の中、様々なキャンペーン企画等による既存店舗の集客に取り組んだものの、既存店お客様来店数が前期比93%程度での推移となり、前期比を7.5%下回る。

【営業利益】29.4億円(前期比△42.7%)

原価管理の徹底と消耗品費を中心とした経費圧縮に努めたものの、円安基調による原材料の高騰や電気・ガス料金上昇の影響により、レストランカラオケ事業等の売上高減少を補うまでには至らず。また、新規事業の立ち上げに当初の想定より時間を要したことなどから、前期実績を下回る。

【経常利益】28.4億円(前期比△45.8%)

【当期純利益】5.2億円(前期比△80.4%)

□ 主にレストランカラオケ事業の用に供する固定資産について減損処理を行ったことにより、前期実績を下回る。

II. セグメント別業績の増減説明

[短信【添付資料】2～3ページ及び19～22ページ記載]

■ セグメント別業績

(単位:百万円)

売上高	25年3月期	26年3月期	増減額	増減率
エスロジックス事業	42,887	44,524	1,636	3.8%
コントラクトフードサービス事業	31,001	30,890	△ 111	△0.4%
メディカルフードサービス事業	36,021	36,319	297	0.8%
レストランカラオケ事業	45,243	41,854	△ 3,388	△7.5%
スペシャリティールレストラン事業	18,680	24,108	5,427	29.1%
コンビニエンス中食事業	14,487	14,792	305	2.1%
トータルアウトソーシング事業	37,554	38,483	929	2.5%
その他	4,467	6,350	1,883	42.2%
消去及び全社	△ 44,159	△ 45,740	△ 1,580	△3.6%
売上高 計	186,185	191,583	5,398	2.9%

(単位:百万円)

セグメント利益	25年3月期	利益率	26年3月期	利益率	増減額	増減率
エスロジックス事業	3,742	8.7%	3,619	8.1%	△ 123	△3.3%
コントラクトフードサービス事業	1,790	5.8%	1,663	5.4%	△ 127	△7.1%
メディカルフードサービス事業	1,225	3.4%	1,074	3.0%	△ 150	△12.3%
レストランカラオケ事業	2,259	5.0%	1,137	2.7%	△ 1,122	△49.7%
スペシャリティールレストラン事業	191	1.0%	507	2.1%	315	164.6%
コンビニエンス中食事業	413	2.9%	415	2.8%	2	0.5%
トータルアウトソーシング事業	1,757	4.7%	1,819	4.7%	62	3.6%
その他	53	1.2%	△ 776	△12.2%	△ 829	△1561.7%
消去及び全社≒HQコスト	△ 6,298	—	△ 6,518	—	△ 219	△3.5%
営業利益	5,135	2.8%	2,943	1.5%	△ 2,191	△42.7%

□ エスロジックス事業は、商品調達価格の高騰の影響等により、セグメント利益は36億円(前期比3.3%減)となりました。

□ コントラクトフードサービス事業は、受託先企業の契約内容の見直し等の影響があり売上高が減少する中、材料費・労務費の適正化に努めたものの、原材料の高騰をカバーするまでには至らず、売上高は308.9億円(前期比0.4%減)、セグメント利益は16.6億円(前期比7.1%減)となりました。

□ メディカルフードサービス事業は、営業開発により新規受託施設の増加により売上高は増加したものの、オープンコスト及び原材料の高騰等の影響により、売上高は363.1億円(前期比0.8%増)、セグメント利益は10.7億円(前期比12.3%減)となりました。

□ レストランカラオケ事業は、様々なキャンペーン企画等による既存店舗の集客に取り組んでまいりましたが、既存店お客様来店数が前期比93%程度での推移となったこと等により売上高が減少し、コスト面におきましては原材料の高騰、電気・ガス料金上昇等の影響により、売上高は418.5億円(前期比7.5%減)、セグメント利益は11.3億円(前期比49.7%減)となりました。

□ スペシャリティールレストラン事業は、特に北米市場において米国経済の回復基調の継続により、ロックフェラーセンター、カリフォルニア・フロリダのアミューズメントパーク等、観光施設内の店舗を中心に堅調に推移し、また、為替の影響もあり、売上高は241.0億円(前期比29.1%増)、セグメント利益は5.0億円(前期比164.4%増)となりました。

□ コンビニエンス中食事業は、病院施設などの経営環境が厳しい中、大手コンビニエンスストアや多業態からの攻勢などにより厳しい経営環境にありますが、既存店の健闘により売上高が増加し、電気料金上昇等の影響があったものの、消耗品費の削減等に努めた結果売上高は147.9億円(前期比2.1%増)、セグメント利益は4.1億円(前期比0.5%増)となりました。

□ トータルアウトソーシング事業は、車両運行管理業務においては地方自治体の財政縮減や民間企業のコスト削減等による契約単価下落の影響があったものの、社会サービス業務において地方公共団体から幅広く指定管理者として施設管理・運営を受託した結果、売上高は384.8億円(前期比2.5%増)となりました。利益面においては、エネルギー価格上昇の影響があったものの、セグメント利益は18.1億円(前期比3.6%増)となりました。

Ⅲ. 連結貸借対照表の増減説明

[短信【添付資料】6ページ及び11～12ページ記載]

■ 連結貸借対照表

(単位:百万円)

	25年3月期	26年3月期	増減額
現金及び預金	12,021	11,043	△ 978
売上債権	12,751	13,060	308
その他流動資産	6,948	7,735	787
有形固定資産	28,268	35,434	7,165
のれん	9,736	9,278	△ 458
敷金及び保証金	9,869	8,750	△ 1,118
その他固定資産・投資等	14,686	14,798	111
資産計	94,284	100,101	5,817

(単位:百万円)

	25年3月期	26年3月期	増減額
仕入債務	8,449	8,575	125
借入金・社債(短期・長期)	31,361	37,002	5,641
リース債務(短期・長期)	5,257	4,877	△ 379
資産除去債務	3,091	3,207	116
その他負債	20,789	21,231	441
負債計	68,948	74,894	5,945
純資産	25,335	25,206	△ 128
自己資本比率	26.7%	24.9%	△ 1.8%

□ 総資産は、前期末に比べ58.1億円増加し1,001.0億円(前期末比6.2%増)となりました。

主に、売上債権が3.0億円、その他流動資産が7.8億円、渋谷シダックスビレッジの取得等により有形固定資産が71.6億円増加した一方、現金及び預金が9.7億円、のれんが4.5億円、敷金及び保証金が11.1億円減少したことによります。

□ 負債は、前期末に比べ59.4億円増加し748.9億円(前期末比8.6%増)となりました。

主に、渋谷シダックスビレッジの取得に伴い、借入金・社債(短期・長期)が56.4億円増加したことによります。

□ 純資産は、前期末に比べ1.2億円減少し252.0億円(前期末比0.5%減)となりました。

為替相場の変動により為替換算調整勘定が7.2億円、少数株主持分が1.2億円増加した一方、当期純利益5.1億円の計上と剰余金の配当6.0億円により利益剰余金が0.7億円減少、取締役会決議による自己株式取得により自己株式が5.3億円増加及びその他有価証券評価差額金が3.6億円減少したことによります。

以上の結果、当期末における自己資本比率は、前期末に比べ1.8ポイント減少し、24.9%となりました。

IV. 連結キャッシュ・フロー計算書の増減及び財政状態の説明

[短信 サマリー及び【添付資料】6～7ページ、17～18ページ記載]

■ 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	25年3月期	26年3月期	増減額
営業活動キャッシュ・フロー	10,104	7,333	△ 2,770
投資活動キャッシュ・フロー	△ 1,384	△ 9,724	△ 8,339
財務活動キャッシュ・フロー	△ 6,036	1,232	7,268
換算差額	82	180	97
現金・同等物期末残高	11,789	10,810	△ 978

□ 営業活動の結果得られた資金は73.3億円(前期は101.4億円の資金獲得)となりました。

これは主に、税金等調整前当期純利益が20.3億円計上されたほか、未払金の減少額が6.8億円及び法人税等の支払額が29.7億円発生した一方、減価償却費が64.8億円、減損損失が12.1億円並びに未払消費税等の増加額が12.1百万円あったことによります。

□ 投資活動の結果使用された資金は97.2億円(前期は13.8億円の資金使用)となりました。

これは主に、有形固定資産の売却による収入が9.8億円、敷金及び保証金の回収による収入が13.6億円あった一方、有形固定資産の取得による支出が114.4億円、貸付による支出が3.5億円並びに敷金及び保証金の差入による支出が2.5億円あったことによります。

□ 財務活動の結果獲得した資金は12.3億円(前期は60.3億円の資金使用)となりました。

短期借入金の返済による支出が5.1億円、リース債務の返済による支出が25.1億円、長期借入金の返済による支出が151.4億円、社債の償還による支出が7.6億円、配当金の支払額が6.0億円並びに自己株式の取得による支出が5.3億円あった一方、長期借入れによる収入が215.0億円あったことによります。

以上の結果、当期末における「現金及び現金同等物」は、前期末に比べ9.7億円減少し108.1億円(前期末比8.2%減)となりました。

■ キャッシュ・フロー指標の推移

	24年3月期	25年3月期	26年3月期
自己資本比率(%)	22.7	26.7	24.9
時価ベースの自己資本比率(%)	15.0	21.0	19.3
キャッシュ・フロー対有利子負債比率(%)	294.4	380.9	591.4
インレスト・カバーレッジ・レシオ(倍)	12.1	11.5	7.0

■ 有利子負債等残高の推移

(単位:百万円)

	24年3月期	25年3月期	26年3月期	増減額
借入金・社債	34,828	31,361	37,002	5,641
リース債務	4,673	5,257	4,877	△ 379
割賦未払金	—	1,865	1,486	△ 379
未経過リース料期末残高相当額(注)	4,357	1,427	849	△ 578
合計	43,859	39,911	44,215	4,303

(注) 不動産リース取引は除く

V. 平成27年3月期の通期連結業績予想

[短信 サマリー 及び【添付資料】4～5ページ記載]

■ 次期の見通し

当社グループは、「食」を中心とした水平垂直統合型グループ構造の推進により経営効率化を図り、「食」のフィールド拡大と車両運行管理から社会サービスなど様々な業務の受託拡大を図るため、営業体制の強化を行うとともに、社会問題解決型企業として環境・食料・地域の問題に対しても取り組んでまいります。

次期業績予想は、連結売上高1,770億円、連結営業利益38億円、連結経常利益33億円、連結当期純利益55億円を見込んでおります。

(単位:百万円)

	26年3月期 実績	27年3月期 予想	増減額	増減率
売上高	191,583	177,000	△ 14,583	△7.6%
営業利益	2,943	3,800	856	29.1%
経常利益	2,844	3,300	455	16.0%
当期純利益	521	5,500	4,978	954.5%

VI. セグメント別店舗数推移表

24年3月期		期首	4月	5月	6月	7月	8月	9月	第2四半期末	10月	11月	12月	1月	2月	3月	期末
コトウ外	増加		34	5	0	4	2	2	47	7	2	3	3	2	5	69
	減少		7	1	2	6	13	5	34	2	2	3	0	4	48	93
	残	1,324	1,351	1,355	1,353	1,351	1,340	1,337	1,337	1,342	1,342	1,342	1,345	1,343	1,300	1,300
メディカル	増加		32	2	9	5	0	1	49	3	2	2	4	0	4	64
	減少		3	3	3	3	3	10	25	12	7	1	4	1	45	95
	残	856	885	884	890	892	889	880	880	871	866	867	867	866	825	825
レストランカラオケ	増加		0	1	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	2
	減少		0	0	1	1	0	0	2	0	0	0	1	0	0	3
	残	302	302	303	302	301	301	301	301	301	302	302	301	301	301	301
車両 管理台数	増加		398	35	48	32	26	18	557	41	19	20	12	16	23	688
	減少		483	28	29	21	18	17	596	41	19	13	13	11	14	707
	残	3,605	3,520	3,527	3,546	3,557	3,565	3,566	3,566	3,566	3,566	3,573	3,572	3,577	3,586	3,586
社会 管理人員	増加		1,149	44	11	87	98	19	1,408	48	25	39	10	26	24	1,580
	減少		739	30	96	62	35	18	980	38	20	30	23	16	32	1,139
	残	6,527	6,937	6,951	6,866	6,891	6,954	6,955	6,955	6,965	6,970	6,979	6,966	6,976	6,968	6,968
コンビニエンス中食	残	377			388			389			392				389	

25年3月期		期首	4月	5月	6月	7月	8月	9月	第2四半期末	10月	11月	12月	1月	2月	3月	期末
コトウ外	増加		47	25	1	3	1	2	8	40	4	4	2	5	3	64
	減少		1	4	3	5	5	10	12	39	1	1	2	4	1	84
	残	1,346	1,367	1,365	1,363	1,359	1,351	1,347	1,347	1,350	1,353	1,353	1,354	1,356	1,326	1,326
メディカル	増加		1	32	6	5	6	4	0	53	19	3	1	0	4	84
	減少		47	2	4	0	1	1	8	16	6	7	1	4	1	76
	残	779	809	811	816	821	824	816	816	829	825	825	821	824	787	787
レストランカラオケ	増加		0	1	0	0	0	0	1	0	2	0	0	0	0	3
	減少		0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	2
	残	301	301	302	301	301	301	301	301	301	303	303	303	302	302	302
車両 管理台数	増加		204	20	20	38	18	24	324	19	17	17	43	10	22	452
	減少		234	21	18	34	10	19	336	20	27	20	17	9	13	442
	残	3,586	3,556	3,555	3,557	3,561	3,569	3,574	3,574	3,573	3,563	3,560	3,586	3,587	3,596	3,596
社会 管理人員	増加		1,370	47	24	64	200	46	1,751	70	24	39	4	91	46	2,025
	減少		831	37	38	22	19	47	994	29	12	16	22	19	13	1,105
	残	6,968	7,507	7,517	7,503	7,545	7,726	7,725	7,725	7,766	7,778	7,801	7,783	7,855	7,888	7,888
コンビニエンス中食	残	389			395			398			402				398	

26年3月期		期首	4月	5月	6月	7月	8月	9月	第2四半期末	10月	11月	12月	1月	2月	3月	期末
コトウ外	増加		19	4	11	6	5	6	51	3	2	2	2	1	8	69
	減少		7	6	5	2	2	3	25	2	1	7	1	6	19	61
	残	1,327	1,339	1,337	1,343	1,347	1,350	1,353	1,353	1,354	1,355	1,350	1,351	1,346	1,335	1,335
メディカル	増加		34	4	4	6	2	3	53	5	1	14	1	2	3	79
	減少		1	5	4	2	5	2	22	3	2	2	0	5	28	62
	残	786	815	815	815	819	816	817	817	819	818	830	831	828	803	803
レストランカラオケ	増加		0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	2
	減少		0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	3	0	0	4
	残	302	302	302	302	302	302	301	301	301	302	302	299	300	300	300
車両 管理台数	増加		180	30	20	26	16	25	297	19	16	15	11	13	17	388
	減少		177	27	25	19	14	20	282	27	9	9	11	14	21	373
	残	3,596	3,599	3,602	3,597	3,604	3,606	3,611	3,611	3,603	3,610	3,616	3,616	3,615	3,611	3,611
社会 管理人員	増加		1,111	37	37	52	166	98	1,501	8	6	35	47	34	45	1,676
	減少		881	145	22	48	41	55	1,192	31	15	15	65	2	8	1,328
	残	7,888	8,118	8,010	8,025	8,029	8,154	8,197	8,197	8,174	8,165	8,185	8,167	8,199	8,236	8,236
コンビニエンス中食	残	398			393			390			391				382	

VII. レストランカラオケ事業 月次売上・客数推移

24年3月期		4月	5月	6月	7月	8月	9月	第2四半期末	10月	11月	12月	1月	2月	3月	期末
売上(千円)		3,749,816	3,868,535	3,472,856	4,051,167	4,426,821	3,615,806	23,185,001	3,518,123	3,411,287	6,081,408	4,478,495	3,168,834	4,303,076	48,146,225
客数(千人)		2,460	2,582	2,348	2,707	3,022	2,500	15,618	2,386	2,263	3,129	2,758	2,200	2,912	31,268
25年3月期		4月	5月	6月	7月	8月	9月	第2四半期末	10月	11月	12月	1月	2月	3月	期末
売上(千円)		3,572,283	3,609,291	3,596,864	3,675,231	4,195,466	3,607,434	22,256,568	3,168,636	3,185,633	5,554,985	4,115,444	3,028,296	3,933,531	45,243,094
客数(千人)		2,359	2,456	2,406	2,483	2,812	2,494	15,010	2,201	2,109	2,919	2,598	2,093	2,664	29,594
26年3月期		4月	5月	6月	7月	8月	9月	第2四半期末	10月	11月	12月	1月	2月	3月	期末
売上(千円)		3,307,754	3,423,516	3,292,694	3,262,947	4,150,249	3,190,036	20,627,196	2,867,804	3,106,166	5,261,975	3,918,425	2,564,455	3,589,997	41,936,018
客数(千人)		2,279	2,388	2,315	2,383	2,766	2,205	14,334	1,991	1,982	2,698	2,411	1,776	2,383	27,575